

第4回津山自分ごと化会議 傍聴者アンケートまとめ

回収数：19枚

1. 傍聴者

市民	議員	報道	職員	その他	未回答
10 (52.6%)	3 (15.8%)	0	2 (10.5%)	4 (21.1%)	0

▼「その他」の回答

- 鳥取県琴浦町職員

2. 性別

男性	女性
15 (78.9%)	4 (21.1%)

3. 年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
1 (5.3%)	0	1 (5.3%)	3 (15.8%)	4 (21.0%)	6 (31.6%)
70歳以上	未回答				
4 (21.0%)	0				

4. 「津山自分ごと化会議」を何で知りましたか。

津山市ホームページ	構想日本ホームページ	新聞	知人から	その他	未回答
3 (15.0%)	4 (20.0%)	6 (30.0%)	3 (15.0%)	4 (20.0%)	0

5. 傍聴した理由は、何ですか。

- 3回目を傍聴し、どのように提案書をまとめるのか興味があった。
- 住民が主体となった政策検討の仕組みづくりを知るため。様々な世代が集まる中で、どの様に意見が集約されていくのか、過程を見るため。
- 関係者にすすめられて。また、話を聞くと面白いと感じた為。
- 母から聞いて興味を持った。
- 公共物の今後を考えるため、市民の生の声を聞き参考にしたい。
- 過去に担当した学校プール、公共プールの今後について、市民委員の意見を聴きたかったから。また、会議の運営の仕方も勉強したかったため。
- 構想日本の事業仕分け人を10年以上継続しているが、自分ごと化会議の様子を知りたいと思った。
- 時代の変化に合わせて、プール（学校、市営、民間）を残す部分、変化する部分の仕分けが必要だと考え、出席しました。
- 知人にすすめられたので。
- 市営プール（公認の総合屋内プール）建設に大変興味がある。
ガラスハウスの廃止、小中学校プールの縮小と屋内プール建設は発展的縮小。
- 自分ごと化とは参加者全員で共有する内容になるかを確認したかった。
- プールが今後どのようになるのか、市民の意見を聞きたいと思ったから。
- ガラスハウスの存廃について関心がある。
- ガラスハウスを長年利用していますが、今後の市立プールや学校のプールがどうなっていくのか関心を持っているから。
- 市内のプールについて、どのような意見があり議論がなされているのか関心がある。
- 市民の考えを知るため。
- 以前FM委員をしていたので、その後どうなっているのか興味があったので、今日は都合が良かったので来た。
- 知人の誘いもあり。レインボーを日常利用しているが老朽化が著しく、天井が落下しないかと不安を抱きながら泳いでいて、新設プールには関心が高い。

6. 「津山自分ごと化会議」について、どう思われましたか。

非常に良かった	良かった	どちらとも言えない	悪かった	非常に悪かった	未回答
7 (36.8%)	4 (21.1%)	5 (26.3%)	1 (5.3%)	0	2 (10.5%)

理由

▼「非常に良かった」「良かった」を選択した理由

- 参加住民が一生懸命考えて来られて、会で発言される。
- プールを通して自分たちのまちづくりを全員が考え、共有している。求めるだけでなく、自分で何ができるか、何が変わられるかを話し合うことで活力あるまちが実現できる。
- 各々「考える」きっかけになったと思います。
- 津山市のプールについて市民から聞ける良い機会になった。
- 多種多様な意見が自由に出て取りまとめは大変そうですが、おもしろかったです。
- 事業仕分けから自分ごと化会議への流れは同一線上にあり、自治体改革の目的は不変と感じた。
- 参加者の積極的発言があり、プラス思考。
- 市民が思っていることを聞くことができるため。
- 考え方の違う方々の意見が聞けたこと。
- これまで話されていた内容がわかった。

▼「どちらとも言えない」を選択した理由

- テーマを絞って議論が必要では。
- まだまだ前に進まない発言が出るが、将来展望を示した結論を出してほしい。
- 本題のプールの議論から外れる事が多い。
- 委員が無作為抽出で選定されていることのメリットはあるが、逆にデメリットも。プール自体についての関わり、利用の仕方（したことのない人も含め）、情報について希薄もしくは乏しく、中身の濃い議論になっていない。
- グラスハウス廃止が先行する討論となっている。しかもほとんど利用経験のない人ばかりの。年間1.1億の市費持出しの話が刷り込まれてしまっている感が強い。プール全体の集約方法別のコストデータを中長期で試算し示すことも必要不可欠。高齢者等の健康増進（アクアビクス）の視点での討論も少ない。
- グラスハウスも含めて、他の市立プールや民間プールを利用している人の数は大変多く、「健康」のキーワードで重要な場所になっている。そうした施設の利用者の意見を深めて、もう1度設けるべきだと思う。
- この会議の様子、討論の内容が分かってよかったのですが、もっと若い人（10代、20代、30代）の意見が聞きたかった。

▼「悪かった」を選択した理由

- せっかく市民委員に議論してもらったのに課題の共有、理想を語り合う程度で、提案も具体性に欠けるものだった。プールについての選択肢が限られているのはこれまでの議論（過去10年）でも明らかなのに、その認識からスタートすべきだった。

7. その他ご意見等ありましたらご記入下さい。

- ありがとうございます。住民の意見をどう反映し、答えていくのか…。大変ですが期待しています。
- 「誰のため」「何のため」の施設なのか視点を大切にしたい。会議での議論結果、熱を今後どう活かすか、住民の方にどう返すか行政マンとして考えていきたい。
- 話が脱線してしまうのは仕方ないと感じたが、早めに軌道修正をしないと時間がなくなり、意見を持っている人の話を聞けないと思います。第4回しか来ていませんが、1～3回が気になった。
- グラスハウスの廃止又は存続どちらにしても津山市民の憩いの場として充実した場所を考えることが必要。
- 水泳に関わる者として、是非総合屋内25mプール（公認）を建設してほしい。
- 「不易流行」の考えを大切にしたい。
- コーディネーターはうまく議論をまとめられていた。
- 経済的にスイミングに行ける子と行けない子に分かれることのないようにしてほしい。
- 命を守るために水泳を学ぶことは大切であり、必要性についてはしっかり指導すべきと感じた。
- グラスハウスの問題は、時間に区切りのある課題です。市民の方に、経費等の現状を説明した上で、意見を広く聞くべきだと思います。
- 温暖化で夏の屋外プール利用は、困難な状況になりつつある。健康被害が心配されるため閉鎖するというプールも発生している。今後は屋外プールの新設は考えられない。安全教育の点から「津山市では泳げない子を出さない」というぐらいの目標を掲げて、水泳指導に取り組んで欲しい。そのためには技術指導は専門の指導者に任せるのがよい。
- 学校プールの集約化（統廃合）し、50mプールにすると市外の近隣自治体も利用するようになれば良い。小中の維持費を統合すれば50mの維持費を確保できるのではないかと。レインボープールでのインストラクターによる指導は、好評と聞いている。子供の関心が大きいこと。